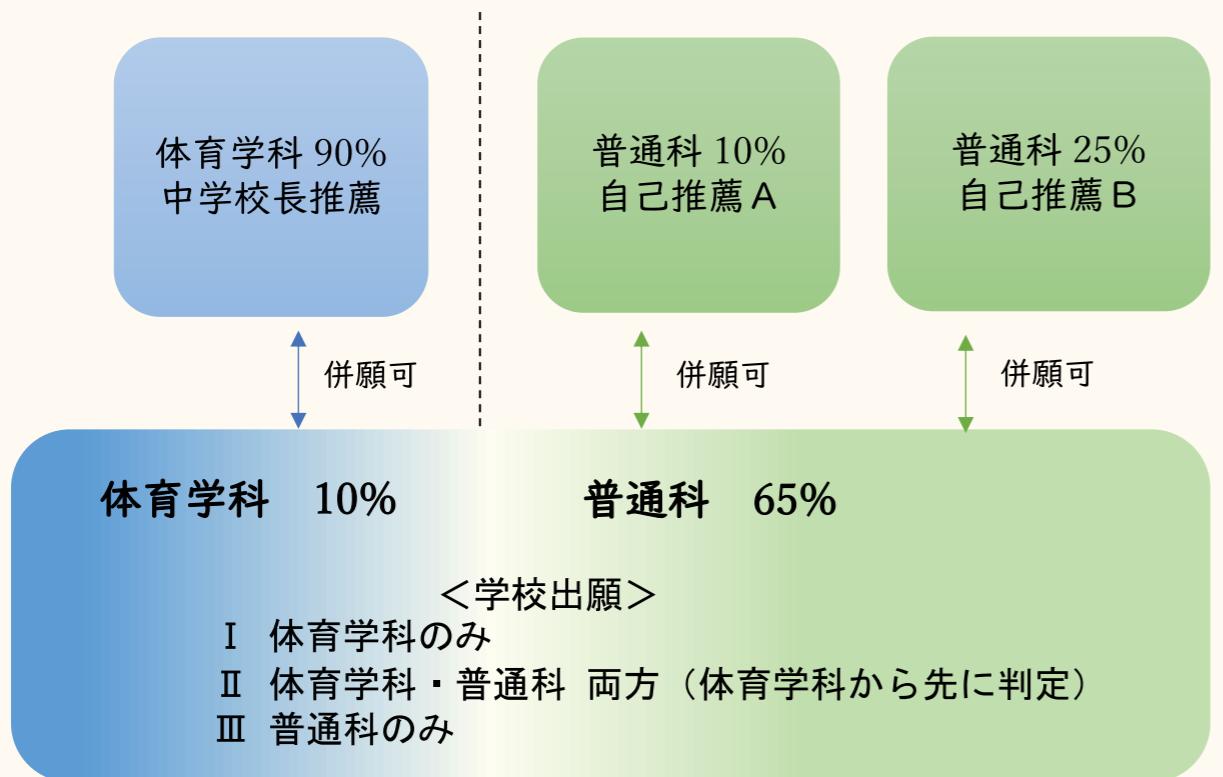


出願・判定

- ◎本校の一般型選抜は学校出願とし、I.体育学科のみ、II.体育学科・普通科両方、III.普通科のみを選択して出願する。（IIを選んだ場合、体育学科から先に判定する）
- ◎一般型選抜（学力検査）は全員が受検し、希望者は学校独自型選抜（「体育学科 中学校長推薦」または「普通科 自己推薦AまたはB」のいずれか）を併願することができる。

学校
独自型
選抜

一般
選抜



※学校独自型選抜から判定を行い、その不合格者と一般型選抜のみの志願者について、一般型選抜の判定を行う。

日 程

1日目 学力検査（志願者全員）

2日目 学校独自型検査([独自型]・[一般型]併願者 および [一般型]のみで、体育学科を志願する者)

2日目 日程

<体育学科>

<普通科>

自己推薦 A 自己推薦 B

AM

実技
([独自型]と[一般型]併願者)

×

プレゼン

PM

実技
([一般型]のみの志願者)

実技

×

*体育学科 実技([一般型]のみの志願者) と 普通科 自己推薦 A 実技 は合同で行う。

草津東高等学校 入試概要



<体育学科>求める生徒像

- (1)自らの行動に責任を持ちながら、自身の競技力の向上を目指し、挑戦を続ける生徒
- (2)将来、社会のスポーツ振興に貢献できる指導者等の道を目指し、意欲的に学習や部活動に取り組む生徒
- (3)広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら行動し、集団として高め合うことのできる生徒

<普通科>求める生徒像

- (1)部活動や体験的活動に主体的に取り組む意志を持ち、充実した環境のもとで、それらを実践しながら、自らの夢にチャレンジしようとする生徒
- (2)自らの行動に対する責任と、社会に貢献したいという意欲を持ち、それらを具現化できる生徒
- (3)広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら、集団として高め合うことのできる生徒

体育学科

<中学校長推薦> 90%

推薦要件

規範意識を持って、学校生活に意欲的に取り組み、本校の体育部活動に所属し3年間継続して競技に取り組む強い意志があり、次の(a)(b)両方の要件を満たし、かつ(c)～(f)のいずれかの要件に該当する者

必須	(a) 体育について幅広く学ぶ意欲があり、本校体育学科への志望の意志が強く、目的意識を持ち、その達成に向けて主体的に努力することを期待できる者
	(b) 陸上競技・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・アーチェリー・基礎能力テスト のいずれかを、実技検査として選択できる者



いすれかに該当	(c) 全国規模の大会または、近畿中学校体育大会に出場した者
	(d) 県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者
	(e) 県選抜選手、県代表選手、日本代表選手として活動した経験のある者
	(f) 上記の競技成績と同等の優れた運動能力があると認められる者

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	200点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	200点
(3)実技検査	[陸上競技・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・アーチェリー・基礎能力]から1競技を選択し、さらに[複合的運動]を受検	600点

※取得した資格や部活動等の実績を、個人調査報告書の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。



併願可

普通科

<自己推薦A> 10%

選択して出願

<自己推薦B> 25%

出願要件

本校入学後、部活動と学習に意欲的に取り組む意志があり、次の(a)～(b)両方の要件を満たし、かつ(c)～(f)のいずれかの要件に該当する者

必須	(a) 中学校の部活動や外部のクラブチームに所属し、入学後も本校の体育部活動にて3年間継続して活動に取り組む意志のある者
	(b) 個人調査報告書における3年生の9教科の評定の合計が32以上の者



いすれかに該当	(c) 体育的活動にて、近畿中学校体育大会または全国規模の大会に出場した者
	(d) 体育的活動にて、県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者
	(e) 県選抜選手、県代表選手、日本代表選手として活動した経験のある者
	(f) 上記の競技成績と同等の優れた運動能力を有する者

出願要件

本校に対する明確な志望動機があり、次の(a)の要件を満たし、かつ(b)～(e)のいずれかの要件に該当する者

必須	(a) 個人調査報告書における3年生の9教科の評定の合計が36以上の者



いすれかに該当	(b) 中学校の部活動や外部の団体に所属し、体育的または文化的活動に優れた実績や能力を有し、入学後も本校の部活動にて継続して活動に取り組む意志のある者
	(c) 中学校生活を高い学習意欲と規範意識を持って過ごした者で、入学後も目的意識を持って生活し、その達成のために主体的に行動する意志のある者
	(d) 社会に対する課題意識や、自身の夢を持ち、課題解決や夢の実現に向けた実践をした経験のある者で、入学後も継続して行動する意志のある者
	(e) 学校のリーダーとして活躍した経験のある者で、入学後も他の生徒を牽引して学校の活性化に努める意志のある者

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	500点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	200点
(3)活動実績報告書	志願者が作成した活動実績報告書	
(4)実技検査	[複合的運動] を受検	300点

※取得した資格や部活動等の実績を、個人調査報告書、活動実績報告書の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。



併願可

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	500点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	300点
(3)実技検査	[複合的運動] を受検	200点

<学校出願>

- I. 体育学科のみ
- II. 体育学科・普通科 両方
- III. 普通科のみ

*[複合的運動]では、走る、ミニハーツドを跳ぶ、ボールを投げる、バランスを取る等の運動能力を総合的に評価する。

プレゼンテーション Q & A

Q1. 草津東高校が実施するプレゼンテーションとはどのようなものですか？

- A. 一人2分間で、あなた自身のこれまでの経験(学校の内外問わず)と今後取り組みたいことについて、口頭で発表をするものです。補助的に「資料等」を用いても構いません。

Q2. 「資料等」とはどのようなものですか？

- A. 「資料等」とは、口頭での発表する際に、補助的に提示する「もの」や、表現するための「動作」を指します。用いる際には、事前に申請が必要な場合があります。**事前に申請していない「資料等」は用いることができません。**申請方法については、後日お知らせします。ただし、「資料等」は評価しません。(プレゼンテーションの得点には含めません。)

○検査場に備えてあるものは自由に使用して構いません。ただし、パソコン・タブレット等の通信機器、アンプ・スピーカー等の電子機器、危険なもの、施設を汚損するおそれのあるもの、生き物、周囲の人の迷惑になるもの等は、持ち込むことはできません。

(検査場に備えてあるもの … 黒板、マグネット、白・赤・黄色・橙色のチョーク)

○「資料等」として用いて良いもの(②③④については、事前に申請が必要)

①紙媒体	サイズ、枚数は自由。 絵を描いたり、写真を貼ったり、自由にデザインして良い。
②楽器・歌・ダンス等の実演	口頭で発表する中で、必要に応じて実演しても良い。 楽器等の実演に必要なものは、自分で持ち込みができるもののみ、事前に申請をし、持ち込んで良い。ただし、更衣等はできない。 その他、実演のために持ち込むものは、事前に申請し、許可を得る。
③英語でのスピーチ	日本語による発表の中に、必要に応じて使用しても良い。 いずれの「資料等」も、「これまでの経験」と「今後取り組みたいこと」について日本語で話をした上で、用いるようにしてください。 「英語」以外の外国語は使用してはいけません。
④制作物（工作品等）	口頭で発表する中で、必要に応じて使用しても良い。 ただし、持ち込むものは事前に申請し、許可を得る。

Q3. 「資料等」は、発表後、提出する必要がありますか？

- A. いいえ。「資料等」は、発表を終えたら持ち帰っていただきます。

Q4. プrezenteShonは、面接とどう違うのですか？

- A. 面接は、質問に対してその場で答えるのですが、プレゼンテーションは、発表する内容を事前に準備することができ、発表を効果的にするための「資料等」を準備することができます。つまり、プレゼンテーションは、自分自身で、発表する内容や、発表の仕方を決めることができるということが面接との大きな違いです。

Q5. 発表を終えたあと、監督者から何か質問されることはありますか？

- A. いいえ。発表を終えたら、監督者の指示に従い、荷物等を持ってすみやかに検査場から退室することになります。

Q6. 原稿文を読みながら発表してもいいのですか？

- A. いいえ。「ただ読むためだけの原稿」の持ち込みは認めていません。「資料等」を見せたり、指示示したりしながら話すようにしてください。

Q7. プrezenteShonの時間は、2分を超えて大丈夫ですか？

- A. 2分間で終えられるようにしてください。2分30秒を超過した場合、途中でも終了します。試験会場ではタイマーがありますので、参考にしてください。

Q8. 「今後取り組みたいこと」とは、高校入学後においてですか、それとも高校卒業後も含みますか？

- A. 高校入学後に取り組みたいことについては必ず触れてください。卒業後のことについても、考えていることや思いがあれば述べてください。

Q9. プrezenteShonでは何が評価されますか？

- A. プrezenteShonでは、皆さんの「目的意識」と「他者にわかりやすく伝える力」を評価します。皆さんがこれまで取り組んできたことと、今後の高校生活への思いを率直に発表してもらったら大丈夫です。その「思い」が伝わるように練習しておいてください。

Q10. 英語の使用や、楽器・歌・ダンス等の実演をする方が高い評価を得られますか？

- A. 皆さんの「目的意識」を「わかりやすく伝える」ための手段の一つとして、英語や楽器・歌・ダンス等の実演があると考えてください。特技発表の場ではないので、必ずしも実演をする必要はありませんし、その完成度の良し悪しを評価するものではありません。2分間で、「自分の思いを伝える」ことを第一に考え、それを効果的に伝えるために補助的に提示する「もの」や、表現するための「動作」があれば、「資料等」として用いてください。

その他、新たにお知らせすることがある場合は、学校HPにて順次、公開します。